▲国道４号線で清掃活動を行う参加者たち

国道４号線をきれいに

白石蔵王エコフォーラム清掃ボランティア活動

11月14日、社会問題化している国道４号越河・斎川地区の尿入りペットボトル問題を解消しようと、４回目となる白石蔵王エコフォーラムによる清掃ボランティア活動が行われました。この日は、構成企業や市職員など30人が参加。尿入りペットボトル105本を含む可燃ごみ約60キロを回収しました。

▲親子でホクホクのサツマイモを堪能

みんなで味わう秋の実り

第二幼稚園　焼き芋会

11月6日、第二幼稚園で毎年恒例の焼き芋会が行われました。園児たちが心を込めて育てたサツマイモを、畑の先生や南町長寿会の皆さんと一緒に焼き上げました。できたてホクホクのサツマイモをほおばり、「甘くておいしい！」と笑顔いっぱいの子どもたち。秋の味覚を通して、地域とのふれあいも深まる楽しいひとときとなりました。

1 _福祉団体による和太鼓演奏が会場を盛り上げました　2 _行列ができた白石産ササニシキ新米すくいどり　3 _認定農業者連絡協議会による餅まきは大盛況！

実りの秋の風物詩

第45回白石市農業祭・白石市福祉まつり2025

11月８日・９日の両日、本市の秋の風物詩、農業祭と福祉まつりがホワイトキューブで同時開催されました。農業祭では、新米・新鮮野菜・果物などの地場産品やＡ５ランク白石産仙台牛の特別販売、大人気の米俵相撲が行われ、参加者には白石産新米ササニシキを贈呈。さらに、今年は６年ぶりに紅白餅まきが復活したほか、市内小学生によるミルク川柳、ころ柿つくり体験、姉妹都市の登別市・海老名市物産展などが行われました。また、福祉まつりでは、福祉団体によるステージ発表、車いす体験、市内の小中学校・福祉団体の作品展示、手芸作品・手作りお菓子・鉢花の販売などが行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。

市民文芸

応募方法　１人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292　白石市大手町１-１白石市総務課へ。**はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。**
毎月15日締め切り。Ｅメールでも応募できます。（✉koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

歌壇　岩崎聰之介　選

大根の土寄せに汗息へる　何処よりか微風野菊匂はす　菊地せつ子
歩行訓練杖突く夫よ頑張ろう　歩調を合わせ秋の道ゆく　末吉アツ子
早いものでダムの仕事も七年目　堤体壁に蔦茂く這う　高橋　政男
をなごなり不惑の息に初の赤子抱くに有り難さ　寺崎　悦子
それぞれの心を短歌で開き合う　歌会で見つけた老いの生き甲斐　齋藤　巌
久しぶりに車の旅ぞ龍舞の　海の青さにこころ洗わる　阿部かつみ
地区の作業芋煮で労う敬老会　おしゃべり楽しく元気頂く　遠藤　舞
数葉の昭和の文は亡母が文字　会いたくなりて久々に見つ　佐藤　啓子
猛暑にも負けずに実るいちじくの　熟れたる三つほど生でいただく　佐藤ひろ子
久しぶり会う顔みんな綻びて　笑顔笑顔の里の寄り合い　木村　芳香

評　一首目、仕事の合間の一寸した感を逃さずに詠んで居られる。二句と三句との繋ぎが巧い。
二首目、初句、破調だがこれでいい。頑張ろうは付き添う作者の心の内。
三首目、「堤体壁」は専門用語。ダムの表の巨大な壁。三句目が、茂く這うに密接。

俳壇　山家弘子　選

老犬と早朝散歩小鳥来る　山田　もも
捨て猫を飼い十五年温め酒　大庭美智子
山の畑突然落葉しぐれかな　菊地せつ子
雲梯のひと枠よりの鰯雲　佐川　鉄輪
コンバイン倒れし稲も刈り進む　平間　幸恵
今日終えて刈田に眠るコンバイン　佐藤　隆志
マラソンの蔵王高原秋惜しむ　星　明
古里へ背びれ突き出し鮭凱旋　我妻　孝則
畦草に光りて宿る朝の露　村上八重子
日の出でて朝露光り玉と落つ　木村　芳香

評　一句目、愛犬が老いて歩くのもおぼつかない。散歩が何よりの元気な薬。お互いに以心伝心の仲。賑やかな小鳥の声に心が和む。
二句目、庭先に捨てられていた子猫も老いて寝てばかり。寂しい限りだが長年心を癒されてきた。酒が心に沁みる。
三句目、山畑の仕事をしていると山林の一角から突然に雨のような落葉の降る大きな音にびっくり。そして静寂に。

柳壇　四竈英夫　選

共生の道有り無しやクマ出没　末吉アツ子
吸った息少し冷まして吐いてみる　佐藤　啓子
労いの言葉一つでやる気出る　志村かつい
作句する考えあぐねる吾ロダン　大庭美智子
金木犀午後の茶の間に香る花　遠藤　舞
米不足むすび試食に安堵する　遠藤　明
米高値気になる末の米作り　星　明
今年こそ骨折しないと誓う吾　遠藤　松雄
新総理対策如何に女性初　小室アイ子
静視する写真が我に問いかける　菊川いつ子
木村　芳香

評　一句目、クマ出没に国までが対策に乗り出す現実。木の実の大凶作が原因とも言われる。「クマだって好きで出て来るわけじゃなし」。
二句目、体温より高い気温の日もあった今年の夏。吸った息を冷やして吐くの表現に、暑さに閉口している様子が表れている。
三句目、人は褒めて育てると言われる。「して見せて言って聞かせてさせてみて。褒めてやらねば人は育たず」とか。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物直売所情報▶

▲オレンジ色の鮮やかな「柿のれん」

寒い季節を彩る「干し柿」

本市では古くから柿が栽培され、ころ柿などの干し柿づくりが行われてきました。干し柿づくりでは、皮をむいたあと軸枝に縄を結んでつるし、乾燥して渋みを抜き、干し柿が並ぶオレンジ色の鮮やかな「柿のれん」は絶景です。

また、柿はビタミンＡ・Ｃ、カロテン、カリウムなどが豊富に含まれ、「柿が赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど栄養価の高い果物です。

本市産の干し柿は、馬牛沼産直センターやおもしろいし市場などでの販売を予定しています。ぜひご賞味ください。

問農林課　☎22-1253